

令和7年度 中河小学校 学校評価（児童・保護者・教師）結果報告

評価項目			1 学期	2 学期	分析・改善策
確かな学力	1. 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり				
	児童	① 授業はよくわかる （目標指数A+B：90％）	 92.3%	 92.1%	<p>全ての項目で目標指数を超える結果となりました。特に②③④の項目で伸びが見られます。「伝える力を育む国語科の授業づくり」をテーマにした研究も2年目となりました。具体的には<単元を貫く言語活動><授業のUD化><言語能力の育成><伝え合いの場におけるICT活用>を意識して実践を行ってきました。</p> <p>昨年度は、①②③の項目で2学期の結果が1学期の結果を下回ってしまいました。今年度は、1学期の結果をふり返った後、2学期開始前には、教職員が「児童の実態」や「研究の取り組み」を再確認する時間を設け、それらを意識して授業づくりや学級経営を年間通して進めてきました。「話すこと・聞くこと」に意欲的になってきた児童が増え、実際に今年度の標準学力調査（3～5年生で実施）の結果を見てみますと、国語「話すこと・聞くこと」の領域で、どの学年も校内平均正答率が目標値よりも上回ることになりました。</p> <p>今後も「中河小の研究」を進めながら、児童の主体性や意欲を高めていきます。</p>
		② 授業に主体的に取り組んでいる （目標指数A+B：80％）	 94.1%	 95.4%	
		③ 自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたり表現する活動に意欲的に取り組んだ （目標指数A+B：90％）	 91.8%	 94.4%	
	教師	④ アクティブで楽しい言語活動を意識して国語の授業づくりに取り組んだ （目標指数A+B：100％）	 86.7%	 93.8%	
	2. 言語能力の育成				
	教師	⑤ 発達段階に応じた話し方・聞き方を指導した （目標指数A+B：100％）	 100.0%	 100.0%	昨年に引き続き、日々の授業や生活の中で語彙を増やすことを心がけています。音読に取り組んだり、異学年に向けて学習の成果を発表したり、各学年で工夫して目的に応じた話し方・聞き方を学習しています。
	3. 伝え合う力の育成				
	教師	⑥ ICT機器の活用やプレゼン能力の育成に努めた （目標指数A+B：90％）	 100.0%	 100.0%	児童は、授業の中で、主に考えをまとめたり、伝えたりする際にタブレットを使用しています。今年度は、さらに様々な場面で活用する姿が見られ、児童のICT機器（特にロイロノート）を使いこなす技術とスピードには驚かされました。今後もより効果的な活用方法を模索していきます。
	保護者	⑦ 子どもは学校での学習や生活についておうちで話している （目標指数A+B：80％）	 92.7%	 91.7%	⑦の項目に関しては、昨年度よりは伸びが見られましたが、引き続き学校では、児童に「伝えること」の良さや必要性を理解させ、学習活動や家庭学習の中で、子どもとご家庭がつながるような課題を考えて取り組ませたいと考えています。保護者の皆様にもご協力をよろしくお願い申し上げます。
豊かな心	1. 互いに認め支え合う学級づくり				
	児童	⑧ 自分や相手を大切にできる言動ができた （目標指数A+B：90％）	 90.9%	 92.6%	<p>中河小の児童には、自分や相手を大切にしようという心や態度が育っているようです。特に、Aと回答する児童が1学期に比べ増えました。今後も日頃の学級での指導や委員会での呼びかけ、教育相談活動をていねいに行っていきます。</p> <p>今後も、自分や周りの人を大切にできるよう、児童の実態を見ながら、必要なタイミングで必要な指導や活動を行っていきます。</p>
	教師	⑨ ポジティブ教育に、年間計画や児童の実態を意識しながら取り組んだ （目標指数A+B：90％）	 85.7%	 93.8%	
	2. 自己肯定感、自己有用感の育成				
児童	⑩ みんな（学級・学年・異学年交流）で一緒に活動するのは楽しい （目標指数A+B：90％）	 95.4%	 97.7%	「清掃活動」「たてわり班遊び」「委員会・クラブ活動」等での異学年交流はもちろん、今年度は、学習の成果を発表する場として異学年交流をさらに活発に行いました。また、6年生が中心となって企画・運営をした「中河祭」など、みんなで一緒に楽しめる機会も数多くありました。	

豊かな心	3. 教育相談・支援教育の充実						
	児童	⑪	学校は楽しい (目標指数A+B: 90%)		92.3%		児童「学校は楽しい」保護者「子どもは楽しく学校に通っている」の項目で、どちらも目標指数を超える結果となりました。昨年度は、どちらの項目も2学期の結果が1学期よりも下がってしまいましたが、今年度は1学期の高い評価を維持できたことを大変うれしく思います。「学校が楽しい」と感じる理由は多岐にわたると考えています。友達との交流、学習、学校行事など様々な面で楽しさを感じることができるよう、分かる授業づくりや安心安全な環境づくりに力を入れていきます。
	教師	⑫	アンケートや相談活動を通して、いじめ・不登校・要支援児童を把握し、未然防止等適切な対応をすることができた (目標指数A+B: 100%)		100.0%		本校では、いじめアンケートや心のアンケートを継続して行い、アンケートをもとに個別に話を聞き取り、本校のいじめ基本方針に基づいてチームで対応することも大切にしています。さらに、ポジティブ教育や道徳の授業などに力を入れ、誰に対しても思いやりを持ち、温かい言動ができるよう見守っています。ご心配なことや不安なことがありましたら、学校にご連絡ください。
	保護者	⑬	子どもは楽しく学校に通っている (目標指数A+B: 90%)		96.8%		
健やかな体	1. 基礎体力の向上						
	児童	⑭	体育の授業などで、めあてに向かってがんばった (目標指数A+B: 90%)		95.4%		今年度も持久走記録会や校内なわとび大会、連合体育大会(5・6年)などの行事を通して、児童に目標を持たせ、達成に向けて努力する経験をさせてきました。今後も、自己の能力に適した課題や目標を設定する機会を増やしていきます。
	保護者	⑮	「中河小スマートルール」をもとに情報機器の適切な利用を働きかけた (目標指数A+B: 90%)		87.7%		今年度も「中河スマートルール」を配付し、各家庭で「我が家のスマートルール」に取り組んでいただきました。残念ながら目標指数を下回る結果となり、2学期は、1学期に比べてAの割合も減ってしまいました。来年度は、1年間通してスマートルールを意識できるような取組を考えていきます。
	教師	⑯	保健や給食から出る資料をICTを活用して子どもに指導ができた (目標指数A+B: 90%)		92.9%		毎月初めには、健康や食に関する情報を掲載したお便りを学級で確認し、共有することを意識しました。児童のタブレットで確認できますので、ご家庭でも話題の一つとしてご活用ください。
信頼される学校	1. 安心・安全な学校づくり						
	保護者	⑰	学校での日常の生活の指導や避難訓練、見守り隊等との連携によって、子ども達にとって安全で安心な学校になっていると感じる (目標指数A+B: 90%)		96.8%		この項目については非常に高い評価をいただきました。生活指導の取り組みやいじめ対策の他、学期1回以上の避難訓練、交通安全指導を行っています。今後も教職員・保護者・地域ボランティアの連携で、危機意識を持ちながら、安心・安全な学校づくりに努めます。
	児童	⑱	地域について学習することで、ふるさとを大切にしたいと思うようになった (目標指数A+B: 90%)		94.9%		保幼小の連携や低学年からの地域学習をはじめ、エコネットさばえ・中河公民館・高年大学と連携した活動やイベントへの参加などで児童は地域を知る学びを体験してきました。今後も、地域資源・人材を活用した学びを積極的に計画し、ふるさとを大切に思う心情を高めていきます。
	保護者	⑲	学校HPやHome&Schoolで、学校の様子や連絡などを知ることができた (目標指数A+B: 90%)		96.3%		学校からのお知らせや連絡、児童の活動の様子などを、Home&Schoolや本校HPを通じて、できる限り迅速に配信してきました。今後も、保護者の皆様にとって必要な情報を迅速にデジタル配信すると共に、アンケート機能等を用いながら、双方向のやり取りができるように努めます。